



2005年3月期(第20期) 中間決算説明会



株式会社 **IFT** コミュニケーションズ

<http://www.ftcom.co.jp>

JASDAQ 2763

本資料は2004年9月30日現在のデータに基づいて作成されて
おります。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点
の当社の判断であり、予告なしに変更されることがあります。



会社概要

会社概要

名称: 株式会社エフティコミュニケーションズ
代表者: 代表取締役 畔柳 誠(くろやなぎ まこと)
設立: 1985年8月1日
資本金: 5億715万円(2004年10月31日現在)
従業員数: 1,120名(2004年10月31日現在)
営業拠点: 直営店49ヶ所、代理店46ヶ所
(2004年10月31日現在)

事業内容

- 1) 通信機器の販売・工事・保守メンテナンス業務
- 2) 移動通信機器の販売
- 3) 総合通信機器のFC加盟店開発・運営
- 4) インターネット間の接続業務の受託
- 5) ソフトウェアの開発・販売
- 6) サプライ商品のネット販売

グループ会社

名称: 株式会社アイエフネット
代表者: 代表取締役 畔柳 誠
設立: 2003年10月1日
資本金: 2億円(2004年11月30日現在)
出資比率: エフティコミュニケーションズ 51%
岩崎通信機株式会社 41.5%
村田機械株式会社 7.5%

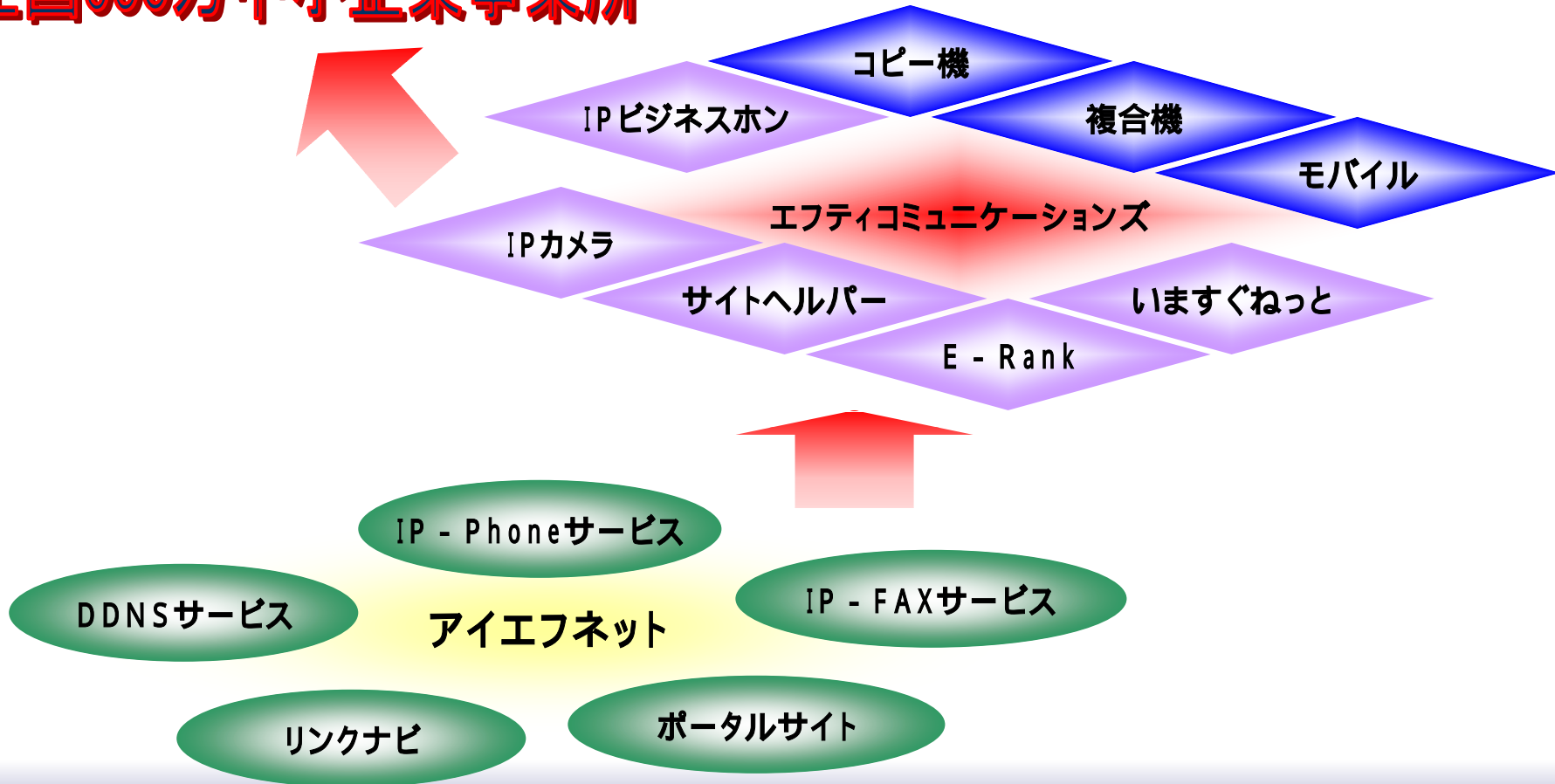
事業内容

- 1) 電気通信事業法に基づく音声伝送役務及びデータ伝送役務
- 2) インターネット接続仲介業
- 3) 広告宣伝業務
- 4) ホームページの企画・立案
- 5) 情報処理サービス業並びに情報提供サービス業
- 6) コンピュータのソフトウェアの開発及び販売

事業領域

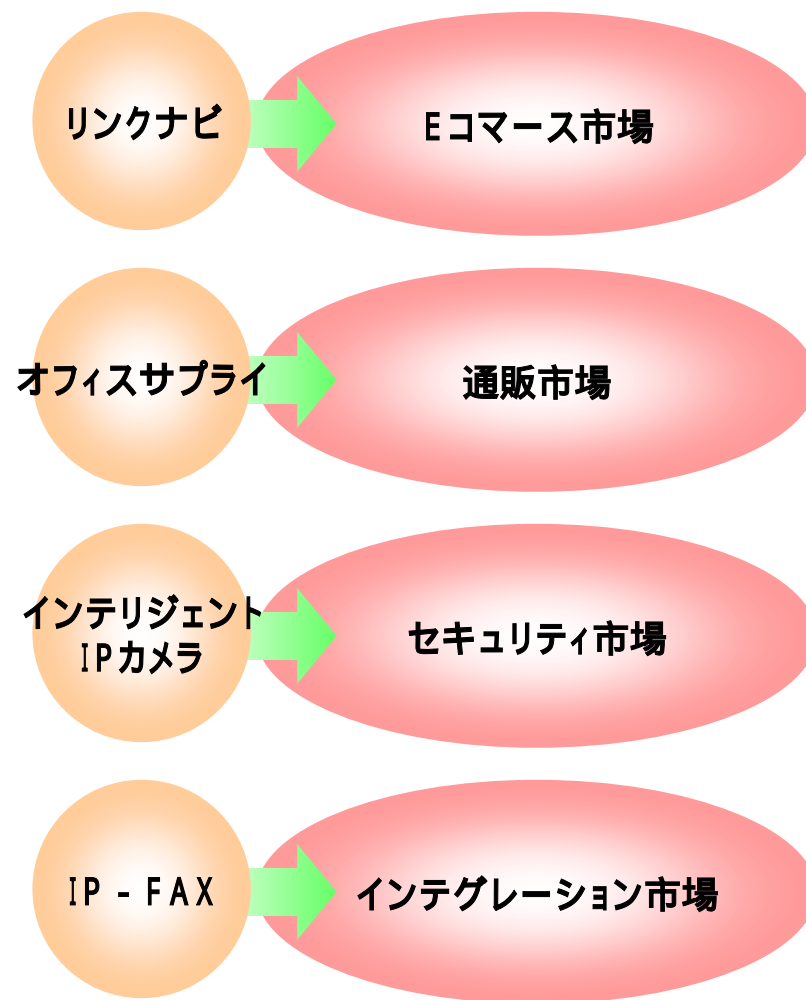
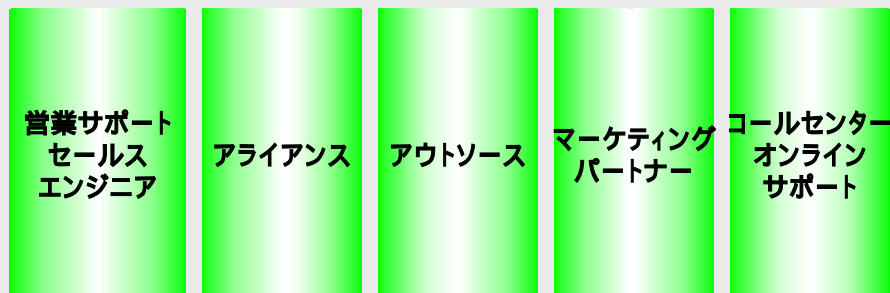
進化するIPネットワークをベースにトータルソリューションを提供

全国650万中小企業事業所



シナジーの期待できる新市場への参入

市場ニーズに合致した オリジナル商品の開発



将来に向けた積極的な先行投資の必要性

当社にとっての市場は過去にないほどの好環境

市場環境

- ・中小企業の情報化投資は好調
- ・中小企業向けのIP電話普及に向けて、各通信事業者のインフラ整備が積極化

当社の業績のアップ

新商品の開発

システムの増強

サポート体制の強化

積極的な業務提携

人材の育成

中小企業への
オフィスタータルソリューションの実現

オールラウンドカンパニーへの進化

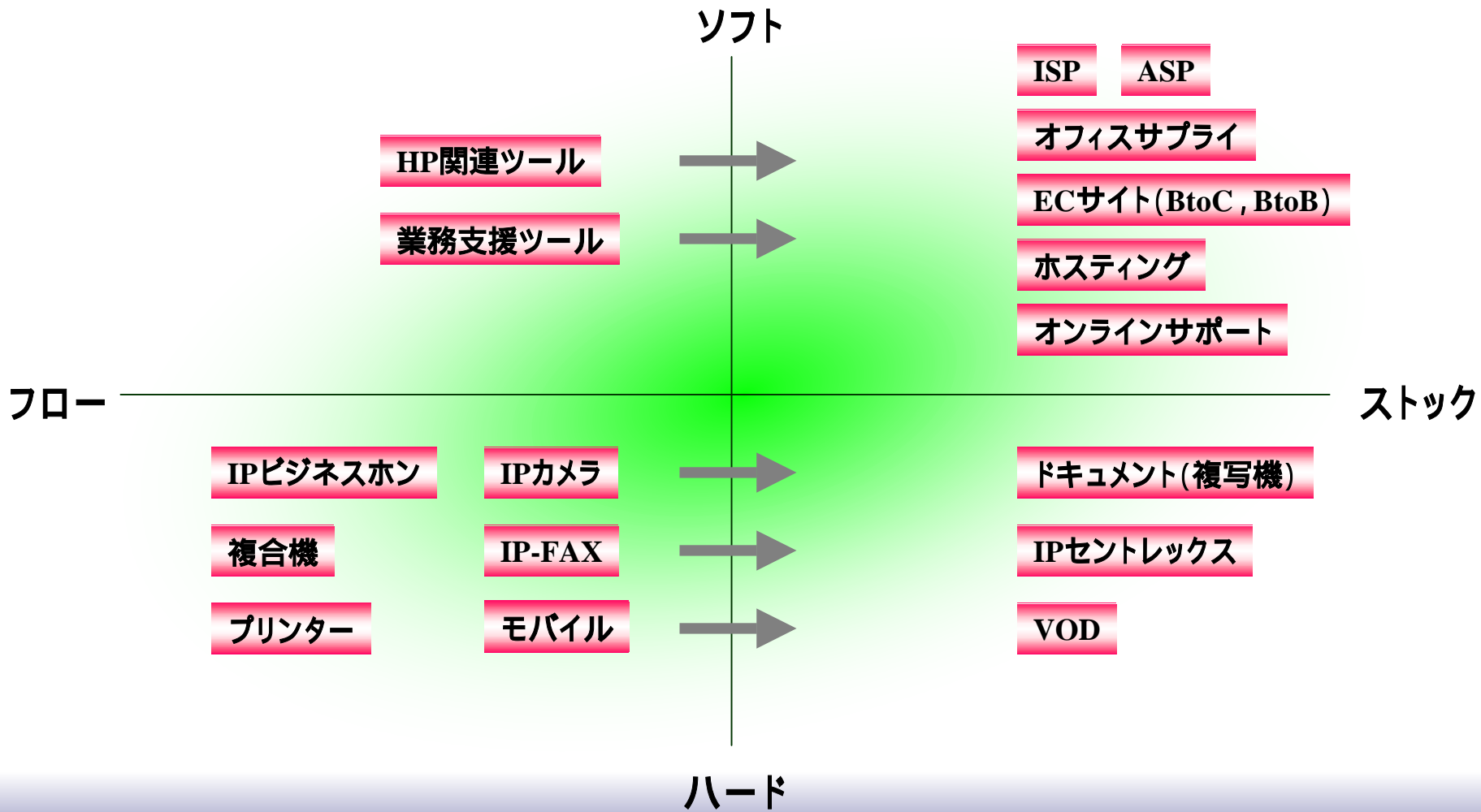
市場の方向性

M & A

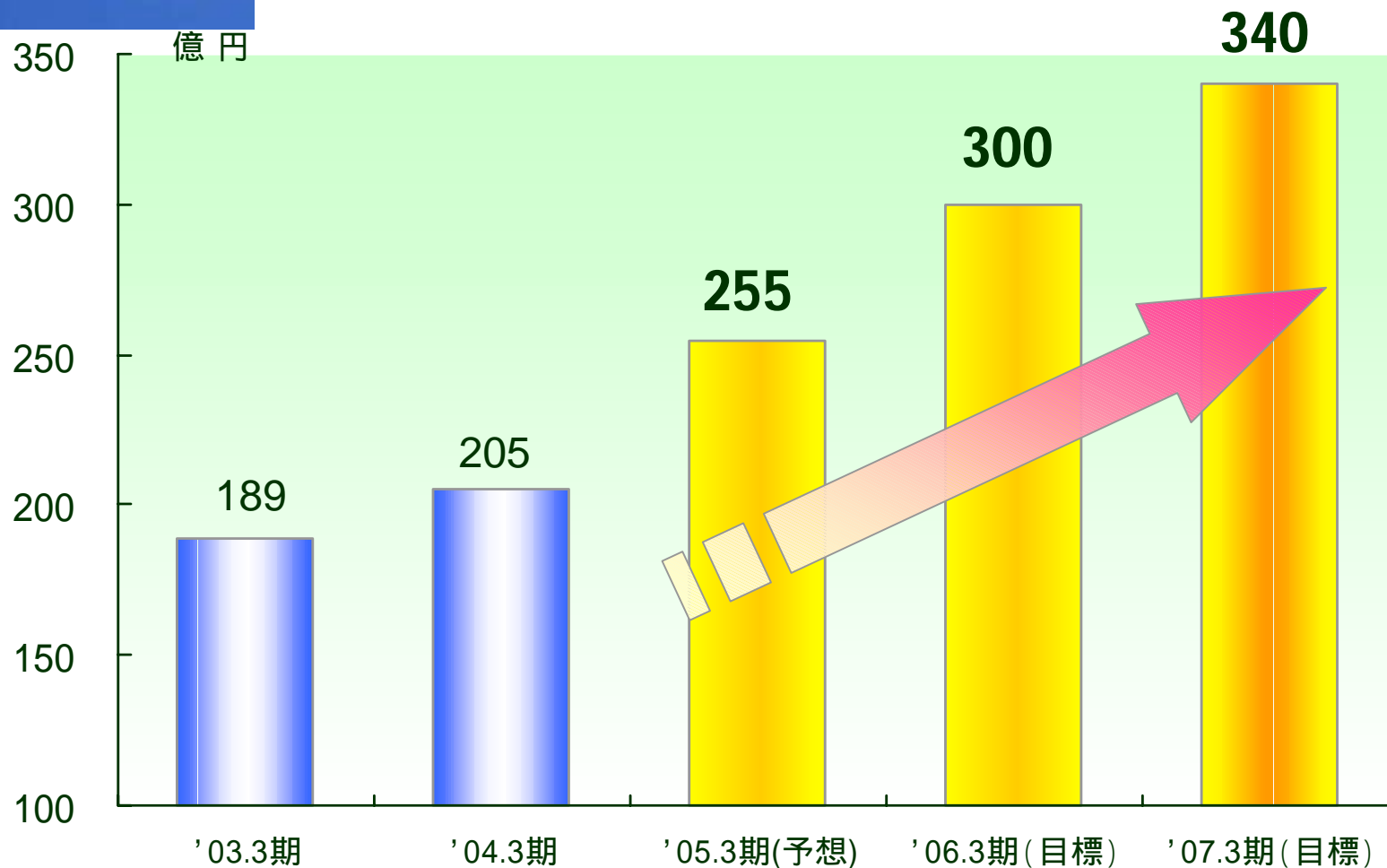
販売奨励

ストック・継続ビジネスへの取組み

光IPサービスに対応したビジネスモデルの開発



中期売上高目標





2005年3月中間期の概況

上半期の概況

ソフトウェアの強化

- ・サイトヘルパー・e-Rank等の業務支援サービスにおいて、8月1日から「安心スタートパック」を実施し、売上計上の期ずれが発生したが、同商材としても全体としても販売強化施策の実施により販売計画をクリア

拠点展開

- ・中小企業のIT化(IP化)投資の活発化、光IP電話の普及に向けた事業環境の急速な好転に対応した優位性維持のための積極的な新規出店の実施

出店拠点

通信機器中心の営業所 (5月/山形営業所、6月/新宿営業所)

IT中心のサテライトオフィス (7月/東海、新潟、青森、北海道)

オフィスサプライ

- ・オフィスサプライ事業の開始 (いまずぐねっと)

新商材

- ・独自製品の開発・販売 (IP-FAX、インテリジェントIPカメラ)

下半期に向けた積極的な先行投資の実施

光IP等の好市場環境への早期対応

サイトヘルパー、e-Rank拡販に向けて

約1億8千万円の先行投資

・サーバーの増設

現在の販売体制において約3年間は増設不要のシステムの増強

・営業社員への拡販施策

同商材の販売奨励金の一時的な強化を実施

・FC代理店への拡販施策

販売手数料における同商材のランク別インセンティブを一時撤廃し、特別施策を実施

・公開率アップのためのクリエイション費用

サイトヘルパーにおいてリンクナビ・ビジネスマッチング等への誘導のため、「安心スタートパック」(5万円)を開始した結果、ディレクションを含む製作費用が増加
(11月以降については、ディレクション・製作費用を別途設定)

・人材の確保と育成

優秀な人材の確保と社内での研修期間の延長による費用増

・販売環境の整備

プレゼンテーション用ノートPC等の費用増

損益計算書

単位：百万円

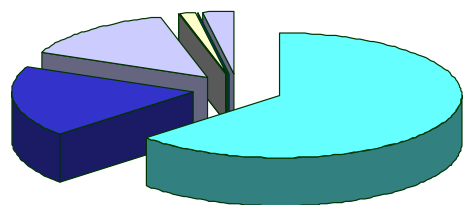
	02/9(単)	03/9(単)	04/9(単)	04/9(連)
売上高	9,250 (- 0.2%)	10,200 (+ 10.3%)	11,814 (+ 15.8%)	11,981 -
売上総利益	3,622 (+ 2.9%)	4,204 (+ 35.1%)	5,678 (+ 35.1%)	5,723 -
営業利益	537 (+ 12.6%)	510 (- 5.0%)	765 (+ 50.0%)	764 -
経常利益	667 (+ 9.0%)	698 (+ 4.6%)	853 (+ 22.2%)	850 -
中間純利益	379 (+ 7.7%)	426 (+ 12.4%)	456 (+ 7.0%)	455 -

下段()内は前年同期比の増加率

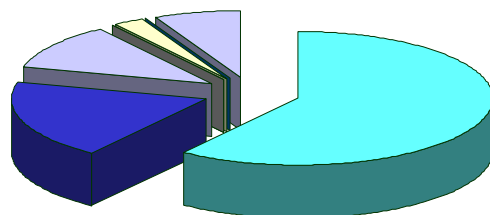
**積極的な事業展開により、過去最高レベルの大幅増収を達成
高付加価値商材の取組みにより、高水準の売上総利益を確保
IP通信への関心の高まりにトータルサポートで提案力を発揮**

商品別売上高

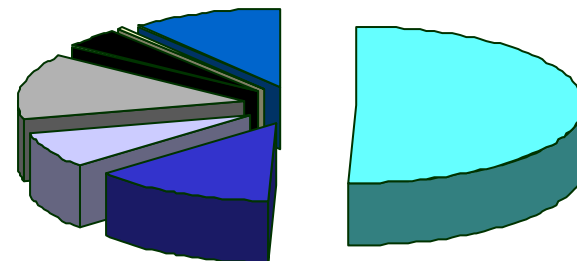
02/9



03/9



04/9



■ ビジネスホン
 ■ 複合機・FAX
 ■ 携帯電話
 ■ サイトヘルパー
 ■ e-Rank
 ■ ASP
 ■ その他

(単位:百万円)

	02/9		03/9			04/9		
	売上高	構成比	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
ビジネスホン	3,953	62.8%	4,101	58.3%	103.7%	4,150	50.8%	101.2%
複合機・FAX	1,168	18.6%	1,300	18.5%	111.3%	1,060	13.0%	81.5%
携帯電話	834	13.2%	722	10.3%	86.6%	578	7.1%	80.1%
サイトヘルパー	-	-	-	-	-	1,126	13.8%	-
e-Rank	-	-	-	-	-	330	4.0%	-
ASP	2	0.0%	10	0.1%	500.0%	-	-	-
その他	337	5.4%	896	12.7%	265.9%	924	11.3%	103.1%

上表は商品別機器売上高を抜き出したもので、保守工事売上等を含めた商品別純売上高を反映させたものではありません

拡大投資の状況

(単位:百万円)

	02/9(単)		03/9(単)			04/9(単)			04/9(連)	
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	金額	構成比
人件費	1,852	60.1%	2,207	59.7%	119%	2,510	51.1%	114%	2,529	82.0%
広告宣伝費	52	1.7%	143	3.9%	275%	176	3.6%	123%	176	5.7%
販売手数料	102	3.3%	83	2.2%	81%	605	12.3%	729%	605	19.6%
賃借料	8	0.3%	18	0.5%	225%	39	0.8%	217%	39	1.3%
地代家賃	148	4.8%	200	5.4%	135%	237	4.8%	119%	241	7.8%
研究開発費	0	0.0%	0	0.0%	-	39	0.8%	-	39	1.3%
人員数										
営業	387		439		113%	539		123%	539	
技術	187		215		115%	237		110%	237	
その他	255		290		114%	331		114%	343	
直営拠点数	32		36		113%	43		119%	-	
FC拠点数	36		36		100%	45		125%	-	

下半期の展開に備えた体制強化の前倒し実施

- 人件費、広告費: 求人規模の拡大による育成人員の増加
- 販売手数料: 販売クオリティを高めるためのFC加盟店の委託化
加盟店体制強化に向けた支援施策の実施
- 賃借料、地代家賃: 営業インフラの整備に向けたレンタルPC等の増加
- 研究開発費: 加入者数の増加に備え商品性を高めるためサーバーシステムを増強

貸借対照表(資産の部)

単位:百万円

科目	03/9(単)	04/9(単)	04/9(連)
資産の部			
流動資産	10,478	8,810	9,019
固定資産	1,891	4,415	4,348
有形固定資産	768	2,178	2,189
無形固定資産	24	24	41
投資等	1,099	2,212	2,117
資産合計	11,954	13,680	13,367

・経営効率化に向けた本社施設の購入
 ・受注好調による売掛金
 棚卸資産の増加

・本社施設の購入による増加

・定期預金よりも利率の有利な
 長期性預金への振替

貸借対照表(負債・資本の部)

単位:百万円

科目	03/9(単)	04/9(単)	04/9(連)
負債の部			
流動負債	4,600	4,325	4,406
固定負債	4,336	4,754	4,754
負債合計	8,936	9,080	9,161
資本の部			
資本金	454	510	510
資本剰余金	383	439	439
利益剰余金	2,593	3,316	3,297
株式等評価差額金	1	3	3
資本合計	3,433	4,145	4,126
負債・資本合計	12,370	13,225	13,367

短期借入金の返済

本社施設の購入に伴う
長期借入金の増加

キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	03/9(単)	04/9(連)
営業活動によるキャッシュフロー	468	491
投資活動によるキャッシュフロー	116	161
財務活動によるキャッシュフロー	73	350
現金及び現金同等物の期末残高	6,023	4,652

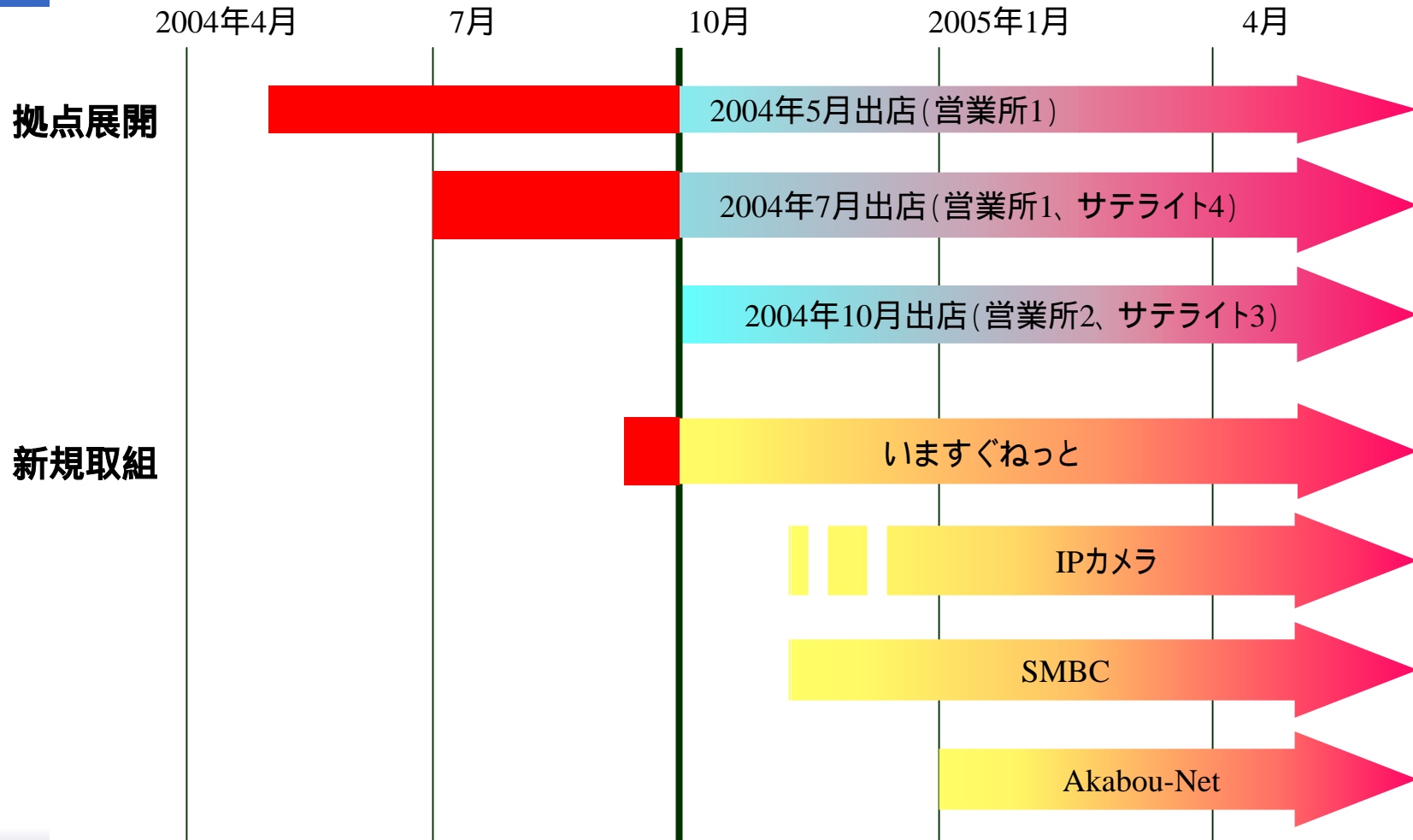
営業活動によるキャッシュフロー
 投資活動によるキャッシュフロー
 財務活動によるキャッシュフロー

売上債権の増加、法人税等の支払により減少
 定期預金預入、新本社ビルに係る固定資産取得により減少
 借入金返済、配当金支払により減少



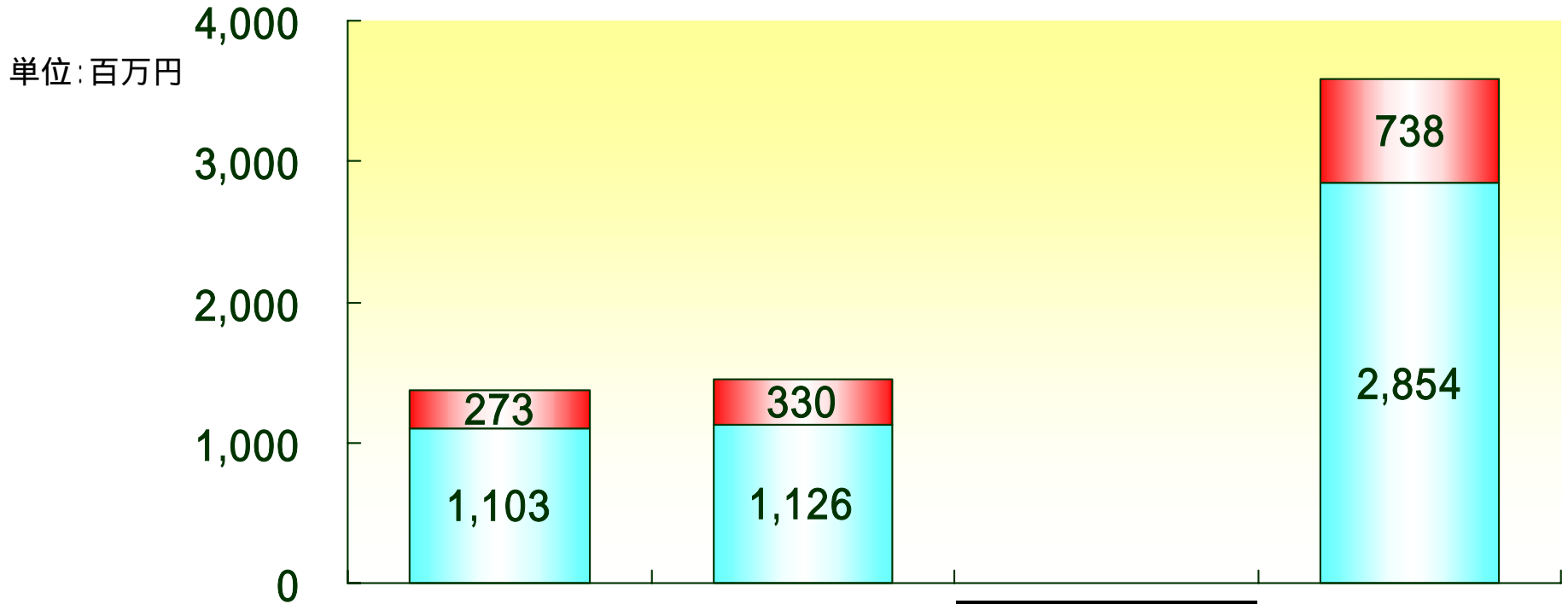
通期の見通し

下半期業績に寄与する要因



ソフトウェアの拡大

■ サイトヘルパー ■ e-Rank



	04/9計画	04/9実績	対計画比	05/3(通期)計画
サイトヘルパー	1,102	1,126	102.2%	2,854
e-Rank	273	330	120.9%	738
合計	1,375	1,456	105.9%	3,592

期待できるオフィスサプライ効果

いますぐねっとの取組み効果

新規開拓のツール

ハード販売へのチャンス

リレーションシップの強化

キーマン(決定権者・購入担当者)
とのコンタクトから情報収集

ユーザー内口座増設

他社からの奪還

インテリジェントIPカメラ



販売開始時期の変更について

今後の拡販を鑑み、PCの使用リソースを減らすためのViewer等のアプリケーションの追加開発によるもの

10月23日 各拠点でのIPカメラ販売研修スタート

12月度より 直営全拠点にて販売スタート

当社顧客に対して電話機、サイトヘルパー等とのセット販売を主として販売開始するとともに大口卸売営業も開始

通期業績予想

単位：百万円

	2004年3月度 (実績)	2005年3月度 (予想)	対前年比
売上高	20,567	25,500	124.0%
経常利益	1,526	2,800	183.5%
当期純利益	951	1,540	161.9%
1株当たり当期純利益	13,398.93(円)	23,166.00(円)	172.9%

通期業績予想については7月21日に上方修正したものに変更はございません



株式会社 **IFTィコミュニケーションズ**

お問い合わせ先

IR・事業管理グループ

TEL : 03-5847-2777

FAX : 03-5847-2766

e-mail : info_ir@ftcom.co.jp